

## 平成 28 年度全国消費者フォーラム参加報告

子ども服のひもの安全性に関わる JIS L 4129 の制定を主導してきた標準化を考える会は平成 28 年 2 月 28 日、全国消費者フォーラム（主催：国民生活センター）にて、同規格のポイントや制定経緯等を発表した。

発表会場の第 5 分科会には約 100 名の参加者が集まり、当研究会の活動成果の報告の場として、また 4129 啓発の場として、とても良い機会となった。



フォーラムは、消費者市民社会構築のため、消費者や関係団体・機関の活動成果を報告・討論する場である。全 5 分科会のうち、第 5 分科会は「安全・安心な社会の形成に向けた地域の多様な取り組み」がテーマであった。当研究会の発表テーマは「子ども服 かわいいだけで選んでいませんか？

（JIS L 4129 ヨイフク）消費者が推進する標準化活動」である。日本では公的な事故情報の収集体制が不十分で、メーカー側の安全対策にもバラつきがあるという問題を指摘するとともに、寸劇をまじえ、子ども服のひものが原因で首がしまったり引っ掛かることによる転倒事故等の危険性について紹介した。さらに、行政やメーカー、消費者等のステークホルダーと連携し、規格の標準化＝JIS化を図ることで、子どもにとって安全・安心な社会形成に貢献できると訴えた。

分科会アドバイザーの立教大学社会学部・萩原なつ子先生からは「ロビー活動等を通じ共感する人が集まり、規格化を実現したことは素晴らしい」との講評をいただき、消費者市民社会実現に向けた活動として高い評価を受けることができた。

以上